

はじめに

■ エコチル調査とは

正式名称は「子どもの健康と環境に関する全国調査」です



エコチル調査は、環境省が企画・立案し、コアセンター（国立環境研究所）、メディカルサポートセンター（国立成育医療研究センター）を中心として、全国 15 地域に拠点としてのユニットセンターを設置し、調査を進めています。

環境中の物質や生活習慣などが子どもの成長や健康にどのような関係があるかを調べる全国的な調査です。分析を含めると 20 年を超すこととなりますが、最終的に「生活環境にある化学物質が子どもの健康にどのような影響を与えているのか」を明らかにすることが目的です。

■ エコチル調査ではなぜ環境中の物質を調べるのでしょうか

ここ 50 年の間に、科学や技術は急速に発展し、私たちの暮らしはとても便利になり、またこれに伴って、様々な化学物質が身近に増えてきました。こうした人間が作り出した物質が、私たちや子どもたちの健康に、どのような影響や関係があるのか、実はまだ詳しく解明されていないのです。

■ なぜ赤ちゃんがおなかにいるときから調べるのでしょうか

ここ数年、ぜんそくや肥満、発達障害などの病気が、子どもたちに増加していると言われてしています。こういった事象から、子どもは成長段階にあり、身体ができあがっていないため、大人より化学物質の影響を受けやすいのではないかと考えられるからです。

赤ちゃんがおなかの中にいるとき、お母さんの体には、貴重な情報がたくさんつまっています。子どもの病気が明らかになってからでは、その情報の多くが失われてしまっているのです。

子どもが健やかに育つ環境づくりへエコチル調査が役立てられています

皆さまのご協力により得られたエコチル調査の研究成果が、妊婦や子どもの健康に関するガイドライン等の科学的根拠として活用されるなど、国内外への社会還元が進められています。具体的には、食品安全委員会の食品健康影響評価書「鉛」「アレルゲンを含む食品 卵」や「食物アレルギー診療ガイドライン 2021」、「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021」、日本語版乳幼児発達検査スクリーニング質問紙 (ASQ-3)、妊娠前 BMI 別の妊娠中の体重増加曲線の策定などに役立っています。また、高等学校の保健体育の教科書にエコチル調査が紹介されています。

環境省「健康と環境に関する疫学調査検討会 報告書概要 (令和 4 年 3 月 29 日公表)」資料から抜粋 (福島ユニットセンターで一部改変)

「評価書 アレルゲンを含む食品 卵 (2021 年 6 月 食品安全委員会)」

「食物アレルギーの診療の手引き 2020」

「食物アレルギー診療ガイドライン 2021」

「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2021」



子ども (約 9 万人) の免疫アレルギーについて集計した論文を引用

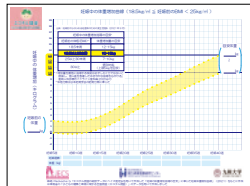
「妊娠中の体重増加曲線 (妊娠前 BMI 別) (2021 年 9 月報道発表)」

妊婦 (約 10 万人) の健診情報を用いて作成

妊娠中の体重増加曲線

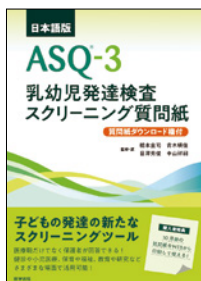
妊娠前 BMI 別に 4 通り作成

(例) 妊娠前 BMI 18.5 ~ 25



「乳幼児発達検査スクリーニング質問紙 (日本版 ASQ-3) (2021 年 10 月発刊)」

パイロット調査参加者 (約 400 人) のデータを用いて基準値を設定



「現代高等保健体育」 大修館書店

「健康を支える環境づくり (さまざまな保健活動と社会的対策)」にエコチル調査が紹介

